

# 令和 4 年度事業報告

特定非営利活動法人 社会還元センターグループわ

## I. 事業報告

グループわ は新型コロナウイルスと共存しつつボランティア団体として高齢者、障がい者等の福祉の増進ならびに子どもたちの健全な育成を目指してボランティア活動を進めました。コロナと共存して社会・経済活動を続けるという国の方針にもより、令和 3 年度と比べて活動の範囲は少しずつ広がりました。

令和 4 年度はグループわ が 1997 年 7 月に創設されて以来 25 周年を迎えました。NPO 法人化後の総会として迎えるこの年の第 19 回定期総会は午前の総会後に 3 年ぶりに 2 部としての交歓会を開催することができました。会員の活動や練習の場はコロナ禍のためほとんどない状態が 2 年間続きましたが総会 2 部の交歓会は会員のボランティア活動再開の一つのきっかけとなりました。

グループわ の会員数は 2018 年の 1,478 名をピークに年々減少傾向となり、これを抑えるべく継続会員の維持と新規加入の増大に努めましたが会員総数は前年度比 96%の 1,180 名に留まりました。

財政収支の面におきましては収支のバランスを保つべく神戸市教育委員会からの学校園・学習支援の受託継続、こうべ市民福祉振興協会からのユニバーサルカレッジへの支援受託の継続、しあわせの村での事業活動の拡大を図りながら村内活動を中心に活動しましたが、スタッフ活動の増加、須磨一の谷閉館に伴う利用減少、パソコン教室の運営費増等により赤字となりました。この収支バランスは 2 号議案で報告します。

なお、2007 年より続けてきました一ノ谷プラザの貸室管理業務は、建物の老朽化、近隣の再開発のため 2023 年 1 月末に業務を終了しました。

管理運営業務の効率化のため、グループわ 入会手続きや各種支払いの現金支払いをやめ Web 化を進めました。また昨年度から始めた老朽化したグループわ 本部パソコンの新機種への入替を継続し、業務用書類の共用化のためクラウドを活用する検討をスタートさせました。更に令和 3 年度から開始したグループわ の定款ならびに内部規程・規則の見直しは終了し、グループわ 本部役員、運営委員会メンバーに配布して運営の効率化を図りました。

広報としては、機関誌である“ぎやらりわ”が 1998 年の初版発行以来本年 1 月で 100 号となるため特集記事を編集しグループわ の活動内容とあゆみを従来の関係先をはじめ神戸市シルバーカレッジ在学生全員にも配布しました。更にホームページで、最新のボランティア活動の報告をすることに努めグループわ の基本情報や動画も含めたより新しい情報の提供を充実させるなど、グループわ の活動を積極的に PR しました。

部会活動では、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら福祉、国際、環境、文化、いきがいの分野で活動しましたが、活動実績としてはコロナ禍の影響もありコロナ以前と比べて低迷しました。反面、国際会議の復活の兆しもみられ、高齢者施設からのボランティア依頼も少しずつ増加しはじめ、しあわせの村での活動はこうべ市民福祉振興協会との連携に重点をおいて活動し年 3 回行う子ども向けイベントも活況を呈し多数の参加がありました。

区会活動では、役員の後継者不足の問題や地域活動への参加者の低迷などの課題がありますが、地域の美化活動、施設へのボランティア訪問、学校園・学習支援活動、趣味の会・親睦会など、それぞれの区会ごとに活動しました。更に神戸市シルバーカレッジ学生による地域交流会と区会との連携の強化を図り区会の活性化に取り組みました。また、地域活動の活性化のため区会長にて検討会をもち、その検討結果は運営委員会において検討を継続し反映できるところは今後の区会運営に反映したいと考えます。

以下に、活動課題を項目別に報告します。なお、区会・部会活動については、別添の事業報告書にて詳細に報告しておりますのでご覧ください。

## 1. 会員の確保

### (1) 会員数

	令和3年度会員数	令和4年度会員数
最終会員数	1,225名	1,180名
内継続会員	1,090名	1,075名
内新入会員	135名	105名

### (2) 会員の親睦行事

グラウンドゴルフ・野鳥観察会を区会部会と連携して実施し、会員相互の親睦およびコミュニケーションを高めるように努めました。

	実施日	行事名	参加人数	参加者等
1	11月16日(水)	グラウンドゴルフ大会	41名	グループわ 会員・一般
2	12月4日(日)	野鳥観察会	34名	小学生低学年・一般

### (3) 実用講座

令和4年度のジョイラックデイは2回ともコロナ禍の影響を受け、学生のみでの参加に限定されたため、学生も含めたグループわ 会員相互のスキルアップを目指した実用講座は実施できませんでした。

### (4) 個人ボランティア登録

グループわ に多くのボランティア依頼がありますが、現在登録のボランティアグループにお願いするのが難しい分野の依頼があり、会員の皆さまが個人的に持っている豊富な経験と蓄積された知識をベースにした特技を登録していただき、皆さまの活動場所の提供拡大や要請依頼があった時に対応できるよう「個人ボランティア登録」システムを構築してきました。

ボランティア登録人数	30名
ボランティア登録項目数	51件

令和4年度は新型コロナの影響等で実際の活動につながるまでには至りませんでしたが、1人で複数の分野に登録して下さる方もあり、この情報を有効活用していきたいと思えます。グループわ の入会申込書に記入していただいた項目とグループわ のホームページから個人ボランティアの登録をしていただいたものをデータベースに登録しています。

### (5) 神戸市シルバーカレッジ1年生(29期生)への共通授業

神戸市シルバーカレッジ1年生(29期生)の共通授業(7月6日)の1コマ(90分)をフルに使うってグループわ の活動を紹介する機会をいただきました。第1部ではパワーポイント動画によるグループわ の設立目的や活動内容の紹介、第2部では音楽系クラブによるパフォーマンス披露で親しみと興味を持っていただき、第3部では具体的活動事例の紹介や質疑応答をさせていただきました。約250人の29期生の方が出席されました。

## 2. しあわせの村内での事業展開

### (1) 子どもたち向けイベントの開催

こうべ市民福祉振興協会との共催事業は、新規イベントを含めて、年間計画およびコロナ感染状況を考慮し、しあわせの村を舞台として活動を行いました。令和4年度上期は下記の通り実施しました。

	イベント名	実施日	参加者等	参加人数
1	わいわいストリート (しあわせの村)	5月5日	人形劇「ゆめのつづき」、むかしあそび研究会、KSCスポーツ吹矢グループ、ケナフの会、うらしまたろう、木工グループ、救急ボランティアOB会、わ本部	参加者 午前 302名 午後 321名 スタッフ 133名

2	夏休み工作塾 (しあわせの村研修館)	8月6日	木工グループ、ケナフの会、花実の森、折り紙グループ悠々、おとなの折紙オリガミアン、里山グループ、むかしあそび研究会、創エネ神戸、救急ボランティアOB会、わ本部	参加者 120名 スタッフ 96名
3	ビバ！ハロウィン 「こうべっこひろば」	10月30日	人形劇「ゆめのつづき」、むかしあそび研究会、KSC マジッククラブ、おはなし糸車、わらい届け隊、楽遊クラブ銀雅、すみれ(フォークダンス)、KSC スポーツ吹矢グループ、ケナフの会、うらしまたろう、木工グループ、救急ボランティアOB会、わ本部	参加者 子ども 720名 保護者 642名 スタッフ 185名
4	しあわせの村 ユニバーサルフェスタ	3月11日	トヨタ自動車、美津濃(株)、神戸学院大、わ本部	参加者 161名 スタッフ 6名

## (2)ユニバーサルカレッジの運営業務

こうべ市民福祉振興協会の事業「KOBE しあわせの村ユニバーサルカレッジ」は、今年度、新入生を迎え2学年制となり、受講生は40名(うち、スポット参加2名)となりました。グループわ は毎回12名程度がスタッフとして協力し、知的障がい者の青年たちの学び楽しむ姿に感動し、交流を楽しみました。

今年度はこれまでの体育会系部活動に加え、文科系の部活動3つ(鉄道研究会・調理クラブ・和の世界)を加え、9つの部活動がそろいました。その中でグループわ による文科系部活動「和の世界」は部員数4名で、KSC 茶道部同好会による茶道体験・北区会による絵手紙・ケナフの会による草木染め・三曲会(KSC)によるお琴体験の協力で日本文化を楽しみました。

回	日付	内容;講師等	参加人数
第1回	6月11日 (土)	・開講式特別講義「神戸未来景」;講師:久元喜造神戸市長 ・講義1①「人類の進化」;講師:信田敏宏先生(国立民族学博物館教授) ・部活動オリエンテーション	参加学生 38名 わボランティア 12名
第2回	7月9日 (土)	・講義1②「日本の鉄道～日本の鉄道の歴史と未来」 ;講師:(株)JR西日本あいウィル勝田素乃子先生 ・講義II③「宇宙を旅しよう」;講師:和歌山大学尾久土正己先生 ・部活動和の世界;KSC茶道部同好会その他7クラブ	参加学生 38名 わボランティア 13名 茶道部指導 6名
第3回	8月27日 (土)	・講義1④「ユニバーサル・ドローン協会の活動について」 ;講師:国際ドローン協会榎本幸太郎氏 ・:高校生ドローンパイロット宮崎美侑氏 ・:ユニバーサル・ドローン協会竹中ナミ氏	参加学生 36名 わボランティア 10名
第4回	9月3日 (土)	・講義1⑤「からだの不思議～性について考える」 ;講師:高田哲先生(神戸大学名誉教授) ・講義II⑥「水族館の役割とは?～命をつなぐ学習」 ;講師:古田圭介学芸員(須磨海浜水族園) ・部活動和の世界;絵手紙北区会その他7クラブ	参加学生 36名 わボランティア 13名 絵手紙指導 3名
第5回	10月15日 (土)	・講義I/II⑦⑧「しあわせの村で野外活動」野外活動 ・パーベキュー(*グループ分け*役割分担等) ;講師:池谷航介先生(岡山大学准教授) ・ホームルーム	参加学生 37名 わボランティア 11名
第6回	11月26日 (土)	・講義I/II⑨⑩「オリンピックが語るスポーツの力とは?」 ;講義と実演:小林祐梨子氏(北京オリンピック陸上日本代表5000m) ・ホームルーム:クリスマス会に向けて相談 ・部活動:和の世界;草木染めケナフの会その他7クラブ	参加学生 39名 わボランティア 13名 ケナフの会 5名
第7回	12月17日 (土)	・講義I⑪「クラシック音楽にふれる～クリスマス音楽を楽しもう」 ;講師:石田さと子氏(サクソフォン奏者) ・ホームルーム「クリスマス会の準備」 ・午後クリスマス会アンダンテの演奏・発表・ビンゴなど	参加学生 36名 わボランティア 13名
第8回	1月14日 (土)	・講義I⑫「アニメーションの歴史/鉄腕アトムとアニメーション」 ;講師:清水義裕氏(手塚治虫プロダクション取締役) ・ホームルーム「クリスマス会反省・一年のまとめ」 ・部活動:和の世界;お琴三曲会(KSC)その他7クラブ	参加学生 36名 わボランティア 13名 三曲会 5名
第9回	2月25日 (土)	・講義I⑬「神戸の歴史と文化2」閉講式 ;講師I:田辺真人先生(園田学園女子大学名誉教授) ・研究発表会	参加学生 38名 わボランティア 12名

(3)神戸市シルバーカレッジとの協力活動

- ① 駐車定期券販売協力
- ② 入学式における駐車誘導、式進行補助、集合写真撮影
- ③ オープンカレッジでの見学者対応と校内案内
- ④ 入学申込時の学校説明会への協力
- ⑤ 地域交流会とグループわ 区会活動の推進活動
- ⑥ 卒業証書の筆耕

(4)その他

- ① KOBE しあわせの村健康倶楽部新規加入促進
- ② KOBE シニア元気ポイント説明会【8月9日(火)出席者 15名中 12名が登録】を開催
- ③ こうべ市民福祉振興協会への各種協力(アンケート調査等)

3. 広報活動

広報活動は、グループわ のさらなる活性化と組織拡大を目的として、各部会・区会・本部の諸活動を組織内外に伝えています。その媒体として下記の取組を進めました。

(1)ぎやらりーわの発行

年 4 回発行しておりますが、経費節減のため、会員の自宅宛て郵送は、4月と 1 月の年 2 回発行とし、その他にネット版を年 2 回発行としました。1 月は 100 号記念として特別号を発行しました。

(2)WEB サイト(ホームページ)

WEB サイトは、よりタイムリーに活動の情報を伝える場として活用を進めています。今年も下記のように記事の追加更新を行いました。また、Word Press を使用した WEB サイトを運営し、写真、動画を活用し、見やすく楽しい WEB サイトとなるよう努めました。併せて 1 週間に 1 回追加更新した内容を運営委員の皆さまへ確認をお願いするとともに「部会所属グループ代表」への周知配信、情報共有化に努めました。

WEBサイト更新件数2023年3月末現在

	令和3年度		令和4年度	
	上期	下期	上期	下期
追加更新件数	103	108	113	119

WEBサイト閲覧回数(集計方法：googleアナリティクス：ページビュー)2023年3月31日現在

	令和3年度		令和4年度	
	上期	下期	上期	下期
HP閲覧回数	29,901	33,689	36,645	35,100

(3)SNS(Facebook、Twitter、Instagram)を活用した情報発信を行いました。

(4)その他

- ・継続会費の払込取扱票へ会員情報およびQRコードを印刷し、会費受領処理の簡素化を図りました。
- ・事務所PCのwindows11への対応を推進するとともに、NPO法人向けMicrosoft 365を導入しました。

#### 4. 子どもたちの健全育成

##### (1) 学校園ボランティア活動

子どもたちが学ぶ学校園(小・中学校・幼稚園)を広く支援し、かつグループでの活動資金獲得を目的として神戸市教育委員会から学校園ボランティア等派遣コーディネート業務を昨年度に続き受託しました。支援活動内容は、従来の学習支援に加え、運動会や音楽会、授業参観などの行事支援、花壇の環境整備、飼育動物の世話、図書室の環境整備など多岐にわたっています。各区会の協力やホームページからの募集を通じ、現在 250 名の方が登録されています。

今年度の主な実施状況は 4 月 26 日に「学習支援者説明会」を開催し、学習支援の内容や現状を説明しました。終了後、支援者のマッチングを行いました。7 月 19 日には「学習支援研修会」を開催し、65 名の参加がありました。研修会では教育委員会事務局特別支援教育課学校支援担当係長佐藤巨氏による『発達につまずきのある子を笑顔にするために』と題した講演がありました。12 月 23 日には「支援者の集い」を開催し、57 名の参加がありました。集いでは学習支援者 3 名の方より活動内容の報告があり、その後参加者と意見交換を行いました。

戦争の語り部チームに対しテレビ取材があり、下記日時に放映されました。

・8 月 13 日(土)12:53~14:00 読売テレビウェークアップ特別番組『戦争といま』

・8 月 15 日(月)07:30~07:35 テレビ東京 NEWS180『戦争を振り返ろう』

戦争の語り部チームには 11 校より支援要請があり、主に 2 学期に実施されました。

学習支援・行事支援等の実施状況は次の通りです。

	校園数	延活動日数	延活動人数
行事・特別活動等への支援	34 校	98 日	225 人
作品展受付	6 会場	35 日	142 人
学校環境整備	26 校	381 日	397 人
学習支援	63 校	3,390 日	3,396 人
その他(登下校見守り)	3 校	146 日	148 人

##### (2) 自然環境体験教室の展開

「花実の森整備プロジェクト」と「ケナフの会」は自然環境体験学習として、「カブトムシの観察」と「ケナフの畑見学、紙すき」を実施しています。令和 4 年度は新型コロナウイルス感染防止の徹底を図り、頻度は少ないながらも下記の通り実施しました。

	項目	実施予定日	参加者数
1	花実の森	8 月蔓細工(夏休み工作塾)	約 25 名程度
2	ケナフの会	夏休み工作塾含み紙すき、染め物、炭焼き教室(10 回実施)	各 30~40 名

##### (3) こべっランド受託業務

令和 3 年度の「わんだーらんど」は神戸市総合児童センター移転作業により、中止になりました。移転は完了し、2023 年 2 月 11 日に新規オープンしましたが、現在のところ要請はありません。

#### 5. 国際会議関連支援

主に神戸コンベンションビューローおよび神戸国際協力交流センターからの受託事業として、日本の伝統文化(茶道・書道・華道、着付け等)を紹介して、外国の方に日本への理解を深める活動をします。令和 4 年度は 3 年ぶりに依頼があり、8 月 22 日(月)、23 日(火)、25 日(木)の 3 日間、国際会議に参加した外国人等を対象に、華道・茶道・書道の文化体験ボランティアを、国際部会(通訳)の協力も得て行ないました。コロナ禍でなかなか思うような活動ができませんでしたが、今後も、神戸市観光局・神戸国際協力交流センターと密にコンタクトを取り、日本の伝統文化を幅広くひろめる活動を推進します。

## 6. 「須磨一ノ谷プラザ」管理運営

2007年よりグループわにて管理運営を担いました須磨一ノ谷プラザは、2023年1月末日をもって閉館いたしました。長年にわたりご利用いただきありがとうございました。

当館は1959年に設置され、老朽化が進行しており、今般、新たな利活用に向け、にぎわい拠点を設置する旨神戸市より発表がありました。新たな施設のオープン時期や施設の詳細については神戸市より公開される予定です。

## 7. 「パソコン講座」

神戸市シルバーカレッジの学生・卒業生をはじめ一般の方を対象に「パソコン何でもお好み塾」をふたば学舎で継続実施し、マンツーマン方式の個別指導を進めています。無料パソコン体験教室を比較的参加しやすい夏休みに神戸市シルバーカレッジで実施しました。

項目	実施日	実施回数	受講者数	1回あたりの受講者	延講師数
何でもお好み塾	毎週金曜	49回	159名	3.2名/回	188名
パソコン体験教室	8月15、22日	2回	6名	3名/回	6名

## 8. プログラミング支援

・毎月2回講師勉強会を実施しました。場所は新長田の神戸生活創造センターです。

・令和4年度の実施状況

- ① 2022年7月24日、神戸生活創造センターで夏休みプログラム体験講座を実施
- ② 10月31日、コミスタこうべで「プログラム体験講座」を実施
- ③ 2023年1月31日、2月14日、オルタナティブスクール「さとのわ」(西区)でプログラム講座を実施
- ④ 2月25日、平野児童館(西区)でプログラム講座を実施

・以前連絡をしていた平野児童館から「プログラム講座」を実施したいという話が来ました。

コロナ騒動も落ち着きはじめてののかもしれません。

・不登校生が通うオルタナティブスクール「さとのわ」から「プログラム講座」の依頼がありました。

・子どもが興味をもつものを見つけるキッカケになればありがたいと思っています。

不登校生が通うスクール同士の連絡もあるようなので、必要があればまとめて「プログラム講座」を実施しましょうか、という提案もしています。

・「さとのわ」と「平野児童館」は体験講座ではなく、継続して実施する前提での「プログラム講座」です。

当初計画していた、継続した「プログラム講座」を実施する、という形に沿ったものです。

参加した児童の感想次第ですが、継続できればいいと思っています。

## 9. 業務の効率化

下記の取り組みにより、本部内業務の効率化をはかり、業務量の軽減を目指しました。

### (1)「振込化」の推進

①昨年度より推進している各事業部門・イベントにおける旅費・立替金等の精算を、現金支払から、ネットバンクによる振込化に全面的に切替えました。

- ・対象部門：本部、須磨一ノ谷プラザ、PC教室、お買い物サポート、学校園
- ・イベント部門：ユニバーサルカレッジ、わいわいストリート、夏休み工作塾、ビバ！ハロウィン

②運営委員会への助成金支払・委員の交通費支払いをネット振込としました。

- ・対象支払い：運営助成金、学校園協力金、委員交通費

③本部内での事務経費類の業者支払いをネット振込としました。

- ・対象支払い：消耗品・備品購入、ふたば賃料

## (2)ボランティア保険の申込・精算方法の簡略化

従来、ボランティア保険の支払いは、グループわ 年会費の入金ごとに、現金による保険料払い込みと保険申込書を窓口(北区社会福祉協議会)に持参していましたが、窓口を神戸市社会福祉協議会(市社協)に切り替え、保険料のネット振込手続きを年 2 回だけとし、保険申込書は、年会費入金の週単位の週単位に郵送することで大幅な事務効率化を実現しました。

### <年 2 回の保険料払い込み時期と内容>

- 1 回目：1～3 月の間、翌年度分グループわ 会費入金に対応した件数分の保険料を払込みました。
- 2 回目：4 月以降に入会される見込み件数の保険料相当額を 4 月中に市社協に預入し、精算は年度末にすることとしました。

# 令和4年度決算報告および監査報告

活動計算書 2022年4月1日から2023年3月31日まで

単位：円

科目	金額		
(正味財産増減計算)			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費・入会金			
受取会費	1,771,500		
受取会費・入会金合計		1,771,500	
受取寄付金			
受取寄付金	80,729		
受取寄付金合計		80,729	
受取助成金等			
受取民間助成金	300,000		
受取助成金等合計		300,000	
事業収益			
受託料収益	9,937,996		
参加料収益	80,500		
受講料収益	220,500		
販売収益	119,450		
事業収益合計		10,358,446	
その他収益			
受取利息	124		
雑収益	115,804		
その他収益合計		115,928	
経常収益合計			12,626,603
(2)経常費用			
事業費			
活動報酬	1,327,800		
旅費交通費	3,478,540		
通信運搬費	266,733		
材料費	564,495		
消耗品費	165,780		
印刷製本費	269,515		
水道光熱費	465,567		
賃借料	44,100		
保険料	613,970		
支払助成金	875,400		
業務委託費	937,170		
システム利用費	194,307		
雑費	82,970		
事業費合計		9,286,347	
管理費			
仕入高	10,512		
旅費交通費	1,419,310		
通信運搬費	185,585		
消耗品費	170,658		
消耗備品費	221,260		

科目	金額		
印刷製本費	39,396		
地代家賃	299,880		
保険料	17,940		
租税公課	76,017		
支払手数料	96,087		
システム利用費	26,326		
雑費	454,513		
減価償却費	671,849		
管理費合計		3,689,333	
経常費用計			12,975,680
当期経常増減額			-349,077
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計			0
(2)経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期正味財産増減額			-349,077
前期繰越正味財産額			17,771,979
次期繰越正味財産額			17,422,902

貸借対照表 2023年3月31日現在

単位：円

I 資産の部		II 負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
現金預金		未払費用	1,243,587
現金	134,744	前受金	1,695,000
当座預金	1,262,634	仮受金	1,327,475
普通預金	14,993,884	流動負債合計	4,266,062
現金預金合計	16,391,262	2.固定負債	
他の流動資産		固定負債合計	0
未収金	3,716,670	負債合計	4,266,062
棚卸資産	99,864	III 正味財産の部	
前払費用	583,320	前期繰越正味財産	17,771,979
仮払金	5,000	当期正味財産増減額	-349,077
他の流動資産合計	4,404,854	正味財産合計	17,422,902
流動資産合計	20,796,116		
2.固定資産			
有形固定資産			
什器備品	892,848		
有形固定資産合計	892,848		
無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
投資その他の資産			
投資その他の資産合計	0		
固定資産合計	892,848		
資産合計	21,688,964	負債正味財産合計	21,688,964

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日、2017年12月12日最終改正、NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理処理によっています。

### 2. 事業費の内訳

令和4年度活動計算書 事業費内訳表 2022年4月1日～2023年3月31日

単位：千円

科目	公益団体 運営支援事業	イベント 活動事業	PC指導 事業	区会 活動事業	部会 活動事業	ボランティア 啓発事業	合計
活動報酬	1,153	0	175	0	0	0	1,328
旅費交通費	2,525	849	100	0	0	4	3,478
通信運搬費	102	0	0	0	0	165	267
材料費	7	557	0	0	0	0	564
消耗品費	15	76	0	0	0	74	165
印刷製本費	92	0	0	0	0	177	269
水道光熱費	466	0	0	0	0	0	466
賃借料	0	0	44	0	0	0	44
保険料	17	2	0	0	0	595	614
支払助成金	181	0	0	345	350	0	876
業務委託費	0	937	0	0	0	0	937
システム利用費	80	0	0	0	0	115	195
雑費	0	1	0	0	0	82	83
事業費計	4,638	2,422	319	345	350	1,212	9,286

### 3. 固定資産の増減の内訳

単位：円

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器備品	1,394,138	170,559	0	4,916,291	3,351,594	892,848

### 4. その他NPO法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

グループわの令和4年度の収益は、神戸市学校園・学習支援活動、こうべ市民福祉振興協会のご支援協力等で活動の場を維持いただきながら収益も安定しましたが、新型コロナ収束方向と共に本部および各方面の活動が活発化し、主に交通費の支出が増加したことにより赤字決算となりました。

このため、令和5年度においては、本部管理費の圧縮、区会・部会の協力をいただきながら経費削減を強力に推進することで収支均衡に戻すこととします。

なお、グループわの組織と活動の充実化につきましては、関係諸団体のご支援・ご協力を得ながら、会員の皆さまと共に、より活発な活動を進めてまいります。

東灘区会役員の退任により、東灘区会のこれまでの運営清算金223,475円は、本部で仮受金として預かり、次期の東灘区会新役員体制が整った時点で、全額引き渡しすることといたします。

## 財産目録 2023年3月31日現在

単位：円

借対照表科目	内容	金額		
<b>(流動資産)</b>				
現金預金	現金	本部現金	134,744	134,744
	当座預金	ゆうちょ銀行	1,262,634	
他の流動資産	普通預金	三井住友銀行	10,748,902	
		みなと銀行	4,244,982	16,256,518
	未収金	神戸市学校園受託料	2,871,000	
		イベント受託料他	845,670	3,716,670
棚卸資産	販売書籍在庫分	99,864	99,864	
前払費用	令和5年度ボランティア保険料		563,000	
		須磨パティオ活動保険料	14,020	
	4・5月分ふたば教室使用料他	6,300	583,320	
仮払金	パソコン教室釣銭準備金	5,000	5,000	
<b>流動資産計</b>				<b>20,796,116</b>
<b>(固定資産)</b>				
有形固定資産	什器備品	複合コピー機、書庫他	892,848	892,848
無形固定資産			0	0
投資その他の資産				
<b>固定資産合計</b>				<b>892,848</b>
<b>資産合計</b>				<b>21,688,964</b>
<b>(流動負債)</b>				
未払費用		3月分一ノ谷光熱費他	406,194	
		3月分学校園他交通費	837,393	1,243,587
前受金		令和5年度わ年会費他	1,695,000	1,695,000
仮受金		東灘区会清算金預り金	223,475	
		わ会員専用駐車定期券代	1,104,000	1,327,475
<b>流動負債合計</b>				<b>4,266,062</b>
<b>負債合計</b>				<b>4,266,062</b>
<b>正味財産合計</b>				<b>17,422,902</b>

### 監査報告

令和4年度決算書および関係書類等について監査したところ、いずれも適正であると認めます。

令和5年4月10日

監事 大槻隆文 ㊞

監事 道満出人 ㊞